

都内の最終エネルギー消費及び温室効果ガス排出量 (2012 年度速報値)

最終エネルギー消費

2012 年度最終エネルギー消費は 674PJ

※ J (ジュール) は熱量を表す単位で、1PJ (ペタジュール) = 10^{15} J です。

- 2000 年度比で 16%の減となっています。部門別の 2000 年度比伸び率は、運輸部門及び産業・業務部門 (合算) でそれぞれ 38%、12%の減少となる一方、家庭部門では 5.2%の増加となっています。
- 前年度 (2011 年度) 比で 0.9%の減であり、2005 年度以降の減少傾向が続いています。部門別の前年度比伸び率は、運輸部門で 5.1%の減少となる一方、産業・業務部門 (合算) 及び家庭部門ではほぼ横ばいとなっています。

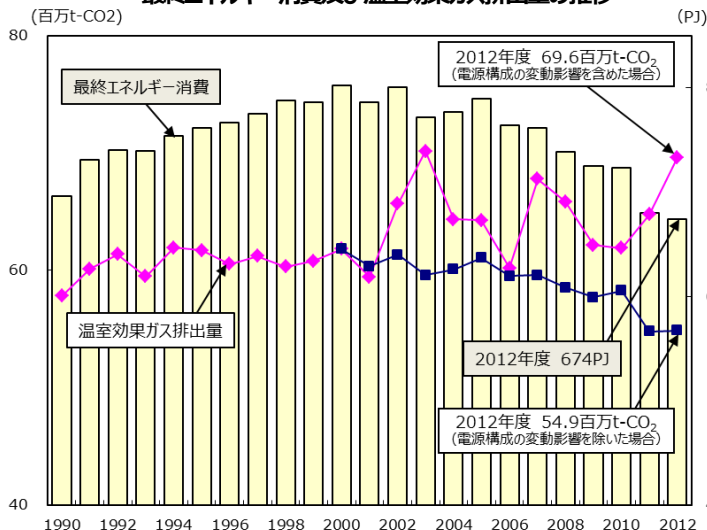
温室効果ガス排出量

2012 年度の温室効果ガス排出量は 69.6 百万 t-CO₂

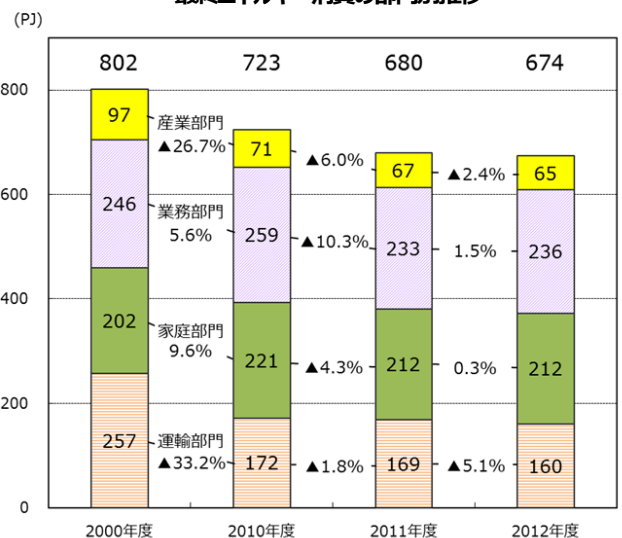
※ 電力供給サイドにおける電源構成 (二酸化炭素排出係数) の変動影響を含めた場合

- 2000 年度比で 13%の増、前年度比で 7.5%の増となっています。
- 電力の二酸化炭素排出係数が、2011 年度以降増加しています。これにより、温室効果ガス排出量の 9 割以上を占めるエネルギー起源 CO₂ 排出量の増加が顕著です。
⇒東京電力の二酸化炭素排出係数 (実排出係数)
2000 年度 : 0.328 kg-CO₂/kWh、2011 年度 : 0.464 kg-CO₂/kWh、2012 年度 : 0.525 kg-CO₂/kWh
- 電力供給サイドにおける電源構成の変動影響を除くため、電力の二酸化炭素排出係数を 2000 年度値に固定して算出した場合の 2012 年度の温室効果ガス排出量は、54.9 百万 t-CO₂ であり、2000 年度比で 11%の減、前年度比ではほぼ横ばいとなっています。

最終エネルギー消費及び温室効果ガス排出量の推移



最終エネルギー消費の部門別推移



◎ 都は、事業者や都民等の省エネ・節電の成果に着目するため、2020 年までに東京のエネルギー消費量を 2000 年比で 20%削減するという目標を掲げました。今後も、大規模事業所に対するキャップ&トレード制度や中小規模事業所・家庭対策などを通じて、都市の成長と両立する気候変動対策を推進していきます。